

学校法人理知の杜  
岡崎日本語学校

令和7年度  
自己点検・評価

実施：令和8年4月1日

当校は、日本語教育機関の告示基準第1条第1項第18号および日本語教育機関の告示基準解釈指針に基づき、自己点検及び評価を行い、報告書として本書を作成し公表する。

各点検・評価項目は以下の5段階で評価を行う。

A：「達成されている」若しくは「適合している」

B：「概ね達成されている（適合している）が、不十分なところが残っている」

C：「未達成（未適合）」だが、「達成」若しくは「適合」になるために取り組んでいる

D：「未達成」若しくは「適合していない」今後の課題である

X：該当しない

## 1. 理念・教育目標

1-1 理念
国際化が進む社会において、必要不可欠なことは国家間の平和的かつ友好的な関係の構築である。民間レベルでの深い相互理解も、その一端を担っていると考えられる。 本法人は、日本語の習得を希望する海外の優秀な人材を受け入れ、日本語教育を通じて日本に対する深い理解を促すとともに、相互理解に基づく国際交流ができる人材を育成し、日本の将来の発展に貢献することを目指している。
1-2 教育目標
日本語の「聞く」「読む」「話す（やり取り）」「話す（発表）」「書く」の各技能を習得させ、不自由なくコミュニケーションが図れる能力を育成するとともに、日本の文化や習慣等を教授し、日本に対する深い理解を持つ人材を育成すること。
1-3 育成する人材像
日本語で日本語母語話者と円滑にコミュニケーションを図ることができ、日本の文化や習慣に理解を示す人材を育成することを目指す。

[A]1-4 理念、教育目標及び育成する人材像が、教職員及び学生に周知されているか。

[A]1-5 理念・教育目標が社会の要請に合致しているか。

まとめ	課題及び改善内容
理念、教育目標及び育成する人材像は、教職員及び学生に周知されている。また、ホームページに掲載することで、学外にも情報を発信している。	業務体制を整備し、教育の質の向上を図るとともに、管理体制の強化及び教育活動の充実に努めている。

## 2. 学校運営

[A]2-1 理念・目標・目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか。

[A]2-2 組織運営や人事、財務管理の規定が整備されているか。

[B]2-3 教職員の採用・定員管理・研修並びに評価は適切に行われているか。

[B]2-4 予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確であるか。

[A]2-5 外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがあるか。

[B]2-6 意思決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能しているか。

[A]2-7 学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っているか。

[B]2-8 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っているか。

[A]2-9 業務の見直し及び効率的な運営の検討が組織的に行われているか。

まとめ	課題及び改善内容
理念・目標・目的に沿った運営方針及び事業計画が策定され、組織運営が適切に管理されている。教職員の研修内容については充実を図ることができたものの、今後は定期的な実施が望まれる。	規定及び予算編成については、体制の充実を図っており、今後も安定した体制の維持に努める。入学志願者等には理解可能な言語で情報提供を行っているものの、対応言語の範囲が限られている状況にある。

### 3. 教育活動

#### (1) 教育活動の計画

- [A]3-1-1 日本語教育機関の告示基準が守られているか。
- [A]3-1-2 理念・教育目標に合致したコース設定をしていて、教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成されているか。
- [A]3-1-3 国内、又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしているか。
- [A]3-1-4 教育目標に合致した教材を選定しているか。
- [B]3-1-5 補助教材，生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意しているか。
- [A]3-1-6 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られているか。

まとめ	課題及び改善内容
日本語教育機関の告示基準を遵守した教育活動を行っている。また、教育目標に合致した教材を選定している。さらに、著作権に関する研修（勉強会）を実施した。	担任教員を中心に、教員間で教育活動に関する共通理解の醸成に取り組んでいる。今後は、認定日本語教育機関の申請を見据え、教育課程の編成を行う。

#### (2) 教育活動の実施

- [A]3-2-1 授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っているか。
- [A]3-2-2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的，編成試験の結果，学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。
- [B]3-2-3 学生が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか。
- [A]3-2-4 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録しているか。
- [A]3-2-5 理解度・到達度の確認を実施期間中に適切に行っているか。
- [B]3-2-6 特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けているか。

まとめ	課題及び改善内容
学生が適切なクラスに所属できるよう、審議・判定を行っている。教員には必要に応じて学生情報を共有し、円滑なクラス運営及び授業の実施ができるようにしている。また、授業報告書及び出席簿の記録については、専任・非常勤を問わず責任をもって行っている。	学生が自律的に学習し、その過程で自身の到達目標を認識しながら学習を進められるよう、必要な方策を講じる。また、特に支援を必要とする学習者には助言を受けられる環境やネットワークを整備する。

### (3) 教育活動を担う教職員

- [A]3-3-1 校長，主任教員，専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めているか。
- [B]3-3-3 教員の指導力向上のための取り組みを行っているか。
- [B]3-3-4 生活指導責任者が特定され，その職務内容及び責任と権限を定めているか。
- [A]3-3-5 入管事務担当者が特定され，その職務内容及び責任と権限を定めているか。
- [A]3-3-6 出入国在留管理局により認められた申請等取次者を配置しているか。
- [A]3-3-7 教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化しているか。
- [B]3-3-8 教育機関としての信頼を高めるため，倫理観，振る舞い，ハラスメント防止等に関する研修を行っているか。
- [A]3-3-9 教員及び職員の評価を適切に行っているか。

まとめ	課題及び改善内容
職員の職務内容及び責任は定められており、適切に業務に従事している。また、出入国在留管理局により認められた申請等取次者を配置しており、適切に業務を行っている。	個々やクラス間での情報共有にとどまらず、学校全体として教員の指導力向上に資する研修の充実を図る。

## 4. 学修成果

### (1) 成績判定と授業評価

- [A]4-1-1 判定基準及び判定方法が明確に定められ，適切に行われているか。
- [A]4-1-2 成績判定結果を的確に学生に伝えているか。
- [A]4-1-3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証しているか。
- [A]4-1-4 学生による授業評価を定期的実施しているか。
- [B]4-1-5 授業評価の結果が教育内容や方法の改善，教員の教育能力向上等の取組に反映されているか。

まとめ	課題及び改善内容
成績判定のための試験を定期的実施し、判定基準は定期的検証している。個人面談や年度末アンケートを通じて学生から授業に関する意見を聴取し、その結果を教育内容および教育方法の改善に反映させるよう取り組んでいる。	授業評価の結果は教職員間で共有しているが、今後は教員の指導力向上にさらに活用することが望ましい。また、評価結果を実践的な課題に変換し、具体的な取り組みへ反映させることが期待される。

## (2) 教育成果

- [ A ]4-2-1 入学から修了・卒業までの学習成果を記録、保管し、適正に管理しているか。
- [ A ]4-2-2 修了・卒業の判定を適切に行っているか。
- [ A ]4-2-3 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握しているか。
- [ A ]4-2-4 卒業又は修了後の進路を把握しているか。
- [ B ]4-2-5 卒業生及び修了生の状況を把握するための取組を行い、進学先等での状況や社会的評価を把握しているか。

まとめ	課題及び改善内容
在籍中の学習成果は記録・保管され、適正に管理されている。また、外部試験の結果も把握しており、学内の学習成果と合わせて、修了判定を適切に行っている。	修了後は、本人のみならず進学先の学校とも連携し、学習・生活状況の把握に努める。

## (3) 進路に関する支援

- [ A ]4-3-1 学生の希望する進路を適切に把握しているか。
- [ A ]4-3-2 進学等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にあるか。
- [ A ]4-3-3 入学時から一貫した進路指導を行っているか。

まとめ	課題及び改善内容
面談や日頃のコミュニケーションを通じて学生の希望する進路を把握し、担任教員を中心に進路指導を行っている。	進路に関する資料は、学生が自由に閲覧できるように改善している。大きな進路変更の際には、エージェントと連絡を取り、家族の意向を確認する対応を今後実施する。

# 5. 学生支援

## (1) 学生支援

- [ A ]5-1-1 学生支援計画を策定し、支援体制が整備されているか。
- [ A ]5-1-2 学習相談に対する支援体制が整備されているか。
- [ A ]5-1-3 進路に対する支援体制が整備されているか。
- [ A ]5-1-4 留學生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に日本での生活指導等の支援体制が整備されているか。

- [ A ]5-1-5 住居支援を行っているか。
- [ A ]5-1-6 アルバイトに関する指導及び支援を行っているか。
- [ A ]5-1-7 健康管理, 衛生管理について支援する体制を整えているか。
- [ A ]5-1-8 対象となる学生全員が国民健康保険に加入し, 併せて留学生保険に加入しているか。
- [ B ]5-1-9 重篤な疾病や傷害のあった場合の対応及び感染症発生時の措置を定めているか。
- [ A ]5-1-10 交通事故等の相談体制を整備しているか。
- [ A ]5-1-12 火災, 地震, 台風等の災害発生時の避難方法, 避難経路, 避難場所等を定め, 避難訓練を定期的実施しているか。
- [ A ]5-1-13 気象警報発令時の措置を定め, 教職員及び学生に周知しているか。

まとめ	課題及び改善内容
学生の学習、生活、進路相談に対する支援体制を整備し、適切な支援を行っている。学生は国民健康保険及び傷害総合保険に加入している。月1回のアルバイト状況調査を実施し、管理している。	学生が緊急時の対応や手順を理解し、適切に行動できるよう、情報発信等の取り組みを今後行う。併せて、感染症発生時の措置に関する情報発信も実施する。組織としても校内の危機管理意識の向上に努める。

## (2) 入国・在留に関する指導及び支援

- [ A ]5-2-1 入管事務担当者は, 研修受講等により適切な情報取得を行っているか。
- [ A ]5-2-2 入管法上の留意点について学生への伝達, 指導等を定期的に行っているか。
- [ A ]5-2-3 在留上, 問題のある学生への個別指導を行っているか。
- [ A ]5-2-4 不法残留者, 資格外活動違反者, 犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っているか。
- [ A ]5-2-5 過去3年間, 不法残留者, 資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていないか。

まとめ	課題及び改善内容
入管事務担当者は適切な情報を取得し、定期的に学生へ入管法上の留意点を伝達している。問題が起こる前に対処できるよう、教職員及びエージェントが一体となって情報共有を行い、取り組みを実施している。問題のある学生には、担任教員及び寮職員を中心に生活指導を行い、その記録を残して共有する体制を整えている。	今後も継続的に関係各所からの情報を適切に活用し、入国・在留に関する指導及び支援に反映していく。

## 6. 教育環境

- [ B ]6-1 安定的に教育活動を継続するための校地及び校舎が整備されているか。

[A]6-2 教室，その他の施設は「日本語教育機関の運営に関する基準」及び「日本語教育機関の告示基準」に適合しているか。

[B]6-3 教室内は，十分な照度があり，換気がなされているとともに，語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されているか。

[B]6-4 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され，常時利用可能であるか。

[A]6-5 教員及び職員の執務に必要なスペースを確保しているか。

[A]6-6 同時に授業を受ける学生数に応じたトイレを設置しているか。

[A]6-7 廊下，階段等は，緊急時に危険のない形状であるか。

まとめ	課題及び改善内容
教室及びその他の施設は，各基準に適合している。校地・校舎を定期的に点検し，安定した教育活動の継続に努めている。	教室の換気が不十分になりがちのため，意識的な換気を行う取り組みを今後実施したい。また，図書室の効率的な利用が促進されるよう，改善策を講じる。

## 7. 入学者の募集と選考

[A]7-1 入学者の募集は，学生の受入方針に基づき適切に行われているか。

[A]7-3 入学志願者に本校の学校情報，求める学生像，及び応募資格と条件等が正確に伝えられているか。

[A]7-4 海外の募集代理人（エージェント等）に正確な情報提供を行うとともに，その募集活動が適切に行われていることを把握しているか。

[A]7-5 入学選考基準及び方法が明確化され，適切な体制で入学選考を行っているか。

[A]7-6 入学志願者の学習能力，勉強意欲，日本語能力等を確認するとともに，受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認しているか。

[A]7-7 入学検定料，入学金，授業料，その他納付金の金額及び納付時期，並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されているか。

[A]7-8 関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ，公開されているか。

まとめ	課題及び改善内容
募集要項には入学者の募集および選考に関する必要な情報を掲載しており，担当者はエージェントに正確に情報を伝えている。入学後にトラブルが生じないよう，エージェントと密に連絡を取り，志願者との意思疎通を図っている。	今後も入学者の募集及び選考が適切に行われるよう，情報提供・公開に努める。学校が把握した情報は関係機関と共有し，適切な募集活動に反映する取り組みを行っている。

## 8. 財務

[A]8-1 財務状況は，中長期的に安定しているか。

[A]8-2 予算・収支計画の有効かつ妥当なものとなっているか。

[A]8-3 適正な会計監査が実施されている。

[A]8-4 財務情報の公開の体制はできているか。

まとめ	課題及び改善内容
学校法人を通じて適正な会計監査が実施されている。予算及び収支計画は、有効かつ妥当なものである。	今後も予算書を確認しつつ、適切な財務状況の維持に向けた対応を行う。

## 9. 法令遵守

[A]9-1 出入国管理及び難民認定法令等の遵守と適切な運営がなされているか。

[A]9-2 個人情報保護のための対策をとっているか。

[A]9-3 地方出入国在留管理局，その他関係官公庁等への届出，報告を遅滞なく行っているか。

まとめ	課題及び改善内容
各法令を遵守して運営しており、関係官庁等への届出や報告は遅滞なく行っている。出入国在留管理庁および名古屋出入国在留管理局の規程だけでなく、愛知県認可の各種学校として、国および県の各種学校に関する規程も遵守している。	出入国管理局の定める規程およびその他関係官公庁の規程の理解を深め、今後も適切な運営に努める。

## 10. 地域貢献・社会貢献

[A]10-1 日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか。

[B]10-2 学生ボランティア活動への支援を行っているか。

[B]10-3 公開講座等を実施しているか。

まとめ	課題及び改善内容
愛知教育大学附属小学校の英語教育活動への参加、市役所が開講する日本語教師養成講座の担当、岡崎ジャズストリートの会場提供など、本校が協力可能な地域活動に参加した。	学生のボランティア活動や地域住民との交流の充実など、実施が望ましい取り組みについては、今後検討し、実現に向けた取り組みを進める。